

## 開森橋架替え工事請負契約の変更理由について

項目	当初設計	変更設計	増加額
仮橋の杭	設計段階のボーリング調査により、杭打設箇所が非常に堅固な岩盤地層であることが判明したため、兵庫県の標準積算基準の中から現場条件に適合したダウンザホールハンマ工法（写真-1）を選定した。	周辺住民との協議において、環境に配慮した工法で実施するよう要望があり、環境への負荷が小さい回転工法により施工したが、掘削が不可能であった。工法を再検討し、掘削能力が高く、騒音・振動・粉塵対策に優れたサイクルハンマ工法（標準型）（写真-2）に変更した。	
	15,000,000円	113,000,000円	98,000,000円
本橋の杭	設計段階のボーリング調査により、杭打設箇所が非常に堅固な岩盤地層であることが判明したため、兵庫県の標準積算基準の中から現場条件に適合したダウンザホールハンマ工法（写真-1）を選定した。	上記サイクルハンマ工法（標準型）により掘削可能となったが、1本を掘削するために1週間を要した。工法を再検討し、仮橋施工時には開発されていなかったサイクルハンマ工法（特殊型）（写真-3）を試行した結果、1日に1本の掘削ができたため、同工法に変更した。	
	24,000,000円	96,000,000円	72,000,000円
高欄		景観アドバイザー会議の審議により、一般的な高欄ではなく、芦屋川の景観に合ったものであり、開森橋（施工前）の意匠を引き継ぐデザインとするよう意見があったため、施工と同時進行で検討を行い、デザインを決定した。	
		46,000,000円	46,000,000円
その他工事	155,400,000円	201,450,120円	46,050,120円
契約金額	(変更前) 194,400,000円	(変更後) 456,450,120円	262,050,120円



写真-1 ダウンザホールハンマ (ヘッド数: 1)



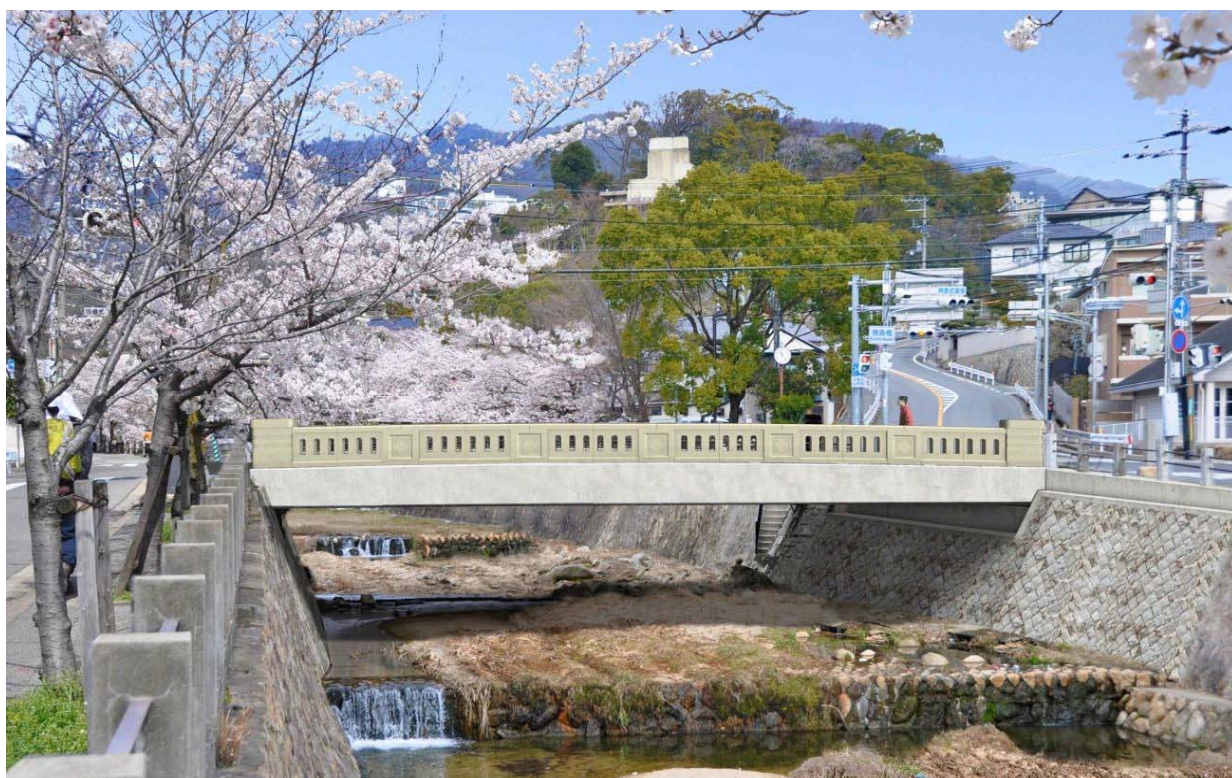
写真-2 サイクルハンマ (標準型) (ヘッド数: 6)



写真-3 サイクルハンマ (特殊型) (ヘッド数: 3)



開森橋（施工後のイメージ）



開森橋（施工前）

